

2023

7

July  
No. 365

広報

みしま

デンバラ虫のオイクラヨイヨイ

何虫もオイクラヨイヨイ

万の虫もオイクラヨイヨイ



県無形民俗文化財

虫送り

【6/10 西方地区】

西方地区の「虫送り」に三島小・中学校の児童・生徒が参加して、3年ぶりに実施されました。地域は子ども達の掛け声ににぎわいを見せ、今年の豊作を願いました。

※詳しくは町民記者通信に記載 (P8)

福島県  
大沼郡  
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

## 工人さん喜んでくれるかな？

三島小学校の児童たちがふるさと会津工人まつりで使用する工人の方の店舗看板を作成しました。店舗の名前に合わせてイメージを膨らませ、小学生ならではの柔軟な発想と個性的な表現力で、世界に一つしかない素晴らしい看板に仕上がりました。

工人の方々のこだわりの作品と手書きの小学生の看板は工人まつりのイメージにピッタリ！！



看板を作成した三島小の児童

## 三島町の手書きPRパンフレットと笑顔をお届け

三島町の良さをより多くの方に知ってもらうため、三島中学校の生徒たちが町の情報を詰め込んだ手書きのパンフレットを来場された方々に手渡しで配布しました。

初めは恥ずかしさからなかなか声をかけられませんが、エンジンがかかってからはあっという間に配り終わっていました。受け取った方からは笑顔があふれていました。



パンフレットを配る様子



飲食店も大賑わい



子どもに大人気だったバードコールホイッスル



## 「てわっさの里まつり」にぎわいを見せた宮下地区



工人まつりと同時に、4年ぶりにてわっさの里まつりが宮下地区内で開催されました。手芸品や古道具など幅広い品々に思わず目をひかれ足を止めてじっくり見ている方が多く見られました。

## 「山と木の市場」多くの方が来場



工人まつりに合わせて、山と木の市場実行委員会主催「山と木の市場」が開催されました。樹木の販売や桐製品をはじめとした木工品等の展示販売が行われ、魅力ある催しで来場客を集めました。



# 第37回ふるさと会津工人まつり

### 町最大のイベント 4年ぶりに開催

第37回ふるさと会津工人まつりは、6月11日・12日の二日間、生活工芸館前で開催されました。初日は天気恵まれましたが、二日目はあいにくの雨となりました。悪天候でも多くの方々が訪れ、ここにしかない作品に目を輝かせながら見入っていました。また、根強い人気を持つ編み組細工の店舗の前には、多くの方が集まって工人の方の話を聞き作品を選んでいました。



大人気だった編み組細工

工人の方からの出展について、申込み時点では271を超過する応募があり、その中から審査を経て、当日出展数は町内の出展の方とあわせ154となりました。北は青森県から南は福岡県と幅広く、全国から集まった工人たちのこだわりの品々が、広場をにぎわせていました。工人まつりのために町内各所に設けた臨時駐車場は、午前中に満車になり、あらためて多くの方が、この工人まつりに注目していることを感じました。



三島町移住者の店舗も大人気

## 会津宮下駅前が多くのお客様で賑わう

### 只見線マルシェ

6月3日に特別列車「只見線トワイライトトレイン」が運行されたことに合わせ、会津宮下駅前において只見線マルシェが開催されました。只見線マルシェでは、会津地鶏の焼き鳥や三島町ならではの特産品と工芸品などが販売され、乗車されていた約140名のお客様は30分間の停車時間にお買い物を楽しみました。帰りの停車時間には三島町の特産品や只見線グッズなどが当たる抽選会も実施され、訪れた皆さんは楽しいひと時を過ごしました。7月16日～17日にも開催予定ですので、ご近所お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。



▲ 停車時間に只見線マルシェを楽しんでいる様子

## 町の特産品「会津桐」を学ぶ

### 森林環境学習の推進

5月18日に大石田地区の桐植栽地において、三島中学校1年生4名が町特産品の会津桐について学ぶ授業が行われました。桐専門員の矢澤倉一さん（高清水）を講師に、座学のほかに芽かき体験も行われ、生徒たちは興味をもって取り組んでいました。

また、6月6日には、三島小学校3・4年生14名が名入地区の桐植栽地及び会津桐タンス工場において同様の授業が行われました。昨年植栽した桐の芽かきと下刈体験、桐の原木や板の状況、会津桐タンス工場の職人さんによる桐製品の製作を見学しました。  
※これらの事業は、県森林環境税を活用して実施しています。



▲ 三島中学校



▲ 三島小学校

## 令和6年度の営業開始に向け

### SS（ガソリンスタンド）整備建設工事 安全祈願祭

6月14日に道の駅尾瀬街道三島宿の駐車場隣のSS建設予定地において、関係者が出席し安全祈願祭が執り行われました。これまで様々な方向から議論と検討を重ね、令和4年1月31日には「三島町SS過疎地対策計画」を策定、令和4年度に設計、令和5年度に施設の整備、令和6年度に開業を予定しています。三島町民にとっての「おらがSS」として、利用しやすいSSを目指し、取り組んでいきます。今後、工事関係車両が道の駅駐車場内を使用するに当たり、道の駅をご利用される皆様には、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲ 安全祈願祭の様子



## 第53回志津倉山開き開催

### 志津倉山の大自然を満喫

6月4日天気は快晴。予約された約80名の参加者の皆さんと共に、志津倉山開きを開催しました。雨の心配がありましたでしたが、当日は登山にはもってこいの気象条件で、参加者の皆様は、志津倉山の自然を満喫していました。前日の雨で足元が悪い中での開催となりましたが、特に大きな事故などはなく安全に下山することができました。

下山後には地元間方の方々が作った山菜たつぷりの山賊鍋が振舞われ、疲れた身体をいやす幸せのひとつとなりました。また桐の里倶楽部の割引券も配られたため、温泉で汗を流す参加者の方が多く見られました。



山頂からの眺め



雨乞い岩



残雪



ブナの原始林



下り道の急斜面

**みんなで楽しく田植え (5月25日)**

小島 純さん (宮下)

三島小学校3～6年生の22名の児童の皆さんが、宮下ふれあい公園「びおたん」にある田んぼで田植えを行いました。

宮下地区と三島小学校、公民館が協力し合い「びおたん交流事業」として毎年行われており、今年もびおたんクラブ役員と町づくり応援隊、宮下地区委員の皆さんの協力を得て、田植えを行いました。栗城隆彦さんの田植えの説明・指導を受け、作業を開始すると、田のぬかるみに足を取られながらも一生懸命に田植えを行いました。児童たちの頑張りによりお昼には作業が終了し、閉会式には「ぬかるんで大変だったけど、踏ん張って、頑張って田植えができた」「農家の人たちの大変さがよくわかった」など各学年から感想が発表されました。

**大登ロータリーとアーチ三兄弟視点場の草刈り (5月27日)**

小島 純さん (宮下)

4年ぶりに開催される「てわっさの里まつり」に合わせて宮下地区では、大登ロータリーとアーチ三兄弟視点場の草刈りを行いました。訪れる方々に気持ちよく町に入ってもらうため、大登ロータリーの草刈りに汗を流し、その後アーチ三兄弟視点場に移動し、気持ち良く撮影、視察してもらうため皆さん一生懸命に作業しました。

**種時桜遊歩道整備作業に汗を流す (6月3日)**

小島 純さん (宮下)

晴天に恵まれた中で、宮下地区では、地区委員とまちづくり応援隊の皆さんの協力を得て、国道252号の山側にある「種時桜遊歩道」の草刈りと桜周辺の除草、木竹の伐採、階段の清掃などの作業を行いました。4年ぶりに「てわっさの里まつり」が開催されることになり、遊歩道を利用される人も増えると思われ、気持ちよく散策してもらえよう、暑い中、皆さん一生懸命に作業に汗を流していました。

**滝谷防火訓練 (6月6日)**

目黒 民一さん (滝谷)

消防団滝谷班と滝谷婦人会で、防火訓練を実施しました。はじめに団員の方より消火栓の開け方やホースのつなぎ方と持ち方などを教えてもらい、その後、実際に放水を行いました。会員の皆さんは、放水時の水圧の強さや重さなどを実感し驚いていました。いざという時の訓練ではありますが、火災など発生しないように、日頃から火の取り扱いには十分に気を付けたいと誓いを新たにしていました。

**三島町産かすみ草出荷始まる****かすみ草目揃え会**

6月からJA会津よつばかすみ草部会を通じて、全国の市場へ三島町産かすみ草の出荷が始まりました。6月20日には、所属する町内の生産者が川井地区の出荷場に集まり、品質、選別時の注意点などを確認しました。出荷時はきれいに咲いていても出荷中にカビや処理水不足で見た目が悪くなってしまったり萎れてしまうことがあるのでJA職員の方が選別基準を詳しく説明していました。厳しい選別をクリアした物だけが、町産の美しいかすみ草としてお客様のもとへ届きます。



▲ かすみ草農家の皆さん

**美坂高原の地域資源を活用****星空ヨガ 2023 ミサカノヨゾラ**

6月24日に美坂高原において「星空ヨガ 2023 ミサカノヨゾラ」が開催され、約200名の方が来場されました。今回も、町内外の美味しい食べ物や加工品、工芸品などが出店され、広い草原では、キャンプをされる方もおりにぎわいを見せました。さらに、南会津町の(株)一十八日さんによるオリジナルアロママッサージオイルを作るワークショップや星空ヒーリングナビゲーター saki さんによるヨガ体験、天体鑑賞愛好家の清水健司さんによる天体鑑賞会など自然豊かな美坂高原でいやしの時間を過ごしました。

9月16日④には、天文学者の渡部潤一先生をお招きし、講演会を実施予定です。ぜひ、ご来場ください。



▲ アロマワークショップ



▲ 星空ヨガ

**団体の育成と文化の振興に貢献 三島町文化協会より****五十嵐純子さん (大登) と五十嵐作子さん (大石田) に表彰状**

6月23日に町民センターで開催された三島町文化協会総会において、令和4年度事業報告並びに決算、令和5年度事業計画並びに予算、および役員改選による新役員が承認されました。

また、副会長として団体の活動を支援された五十嵐純子さんと、琴桐会の代表として長年にわたり団体の育成と文化の振興に貢献された五十嵐作子さんに中兵一郎会長から表彰状が手渡されました。



▲ 五十嵐純子さん (大登)



▲ 五十嵐作子さん (大石田)

## 滝谷健康講座（6月13日）

目黒 民一さん（滝谷）

滝谷集会所において「出張！三島町健康講座」が開催され、竹田総合病院の理学療法士の星さんを講師に迎え、介護予防のお話や転倒予防のためのボールを使った筋肉づくりを行いました。簡単な動きではありましたが、皆さん息が弾み、気持ちの良い汗をかいていました。また、ゲームとして「ポッチャ」や「サムスペル」に挑戦し、特にサムスペルでは、何人かで紐を持ちながら積木をするゲームで崩れる度に歓声があがり楽しい時間を過ごすことができました。



## アメシロの駆除作業（6月18日）

阿部 和彦さん（松原）

松原地区役員と組長5名で「アメシロ駆除作業」を行いました。アメシロは梅・桜・柿などの樹木に発生し葉を食い荒らす害虫で早めの駆除が必要です。今年も町の機械をお借りし、薬剤の散布を実施しました。毎年、アメシロが発生しやすい梅雨時期に地区内の道路沿いを中心に散布し、大発生を防ぎます。作業活動は天気にも恵まれ、1時間30分程で終了しました。緑の美しい町づくりにご協力ありがとうございました。



## 志津倉登山道と かしゃ猫トレッキングロードの整備（5月25日）

菅家 壽一さん（間方）

委託先である佐久間建設工業（株）、志津倉山の会、かしゃ猫クラブから十数名が参加し、志津倉山登山道整備とかしゃ猫トレッキングロードの整備が行われました。今年は倒木が多く、チェーンソー3台が大活躍でした。町内外の有志により立ち上げたかしゃ猫クラブ員6名は、分岐点からかしゃ猫トレッキングロードに入り、案内板の再設置、階段の落ち葉除去、草刈り、急な箇所階段づくりを行いました。今後、間方の宝である大辺峠や美女峠を活用し、施設の整備や研修、秋のトレッキングや冬のかんじきトレッキングを行います。

志津倉山は、1,234 mと低い山ですが、スリルと達成感が感じられる人気の山です。また、かしゃ猫トレッキングロードは、登山道と下山道を繋ぎ、ユツタリと楽しめるコースですが、急な箇所もあり登山に近いコースです。皆さん是非おいでください。



## 虫の供養と五穀豊穡願う「虫送り」（6月10日）

本名 与四郎さん（西方）

西方地区伝統である「虫送り」が3年振りに行われました。午前9時より地区役員や西方地区の予想をはるかに超える多くのボランティアの方々の協力のもと、長さ20m近くの笹竹を切って運ぶグループと山車の周りに使う桑の木などの雑木を切って持ち寄るグループに分かれ、活動を開始しました。午後2時には三島中の生徒達が郷倉に集合し、男子生徒は、小松順太郎さんや青木倉一さん、飯塚秀市さん、小堀修一さんなどベテランボランティアの方に指導を受けながら山車を雑木で覆ったり、代々受け継いで使われている「虫送り」という看板を取り付ける作業などを行いました。女子生徒は、笹竹2本に丸提灯を小さく切った虫送り用の提灯を取り付ける作業を行い、山車を引くための荒縄三本を寄り合わせ、長さ20mほどの引き縄を作り上げました。1時間30分ほどの時間を費やし、幼児などに持たせる「提灯」や道案内を行うための「松明」、山車の飾り付けなどを、完成させました。空が夕暮れに染まるにはまだ早い午後5時から西方の郷倉をスタートし、観客が多く集まる西方のメインストリートを練り歩きました。三島町の子ども達だけでなく町外の子も参加し、大いににぎわいました。三島中学校のふるさと学習「伝統文化の継承」の活動時間を活用し、生徒の皆さんの協力により作られた提灯を手に持ち、大きなかけ声が西方の里なか天空いっぱい響き渡りました。

「伝統を 後世につなげ 虫送り」「三島町 なくてはならぬ 地域力」



ありがとうございました



佐々木 邦雄 さん

よろしくお願いします



阿部 和彦 さん

松原地区の町民記者として、平成25年5月1日から令和5年5月30日まで、長年活動し続けた佐々木邦雄さんが引退され、新たに令和5年6月1日付けで、阿部和彦さんが委嘱されました。佐々木邦雄さんはこれまで松原地区での出来事など約100件以上の記事を寄稿され、松原地区の歴史を記録されてきました。過去の記事は、町HPからもご覧いただくことができます。

# 新

《松原地区》  
町民記者のご紹介

### 訂正のお知らせとお詫び

広報みしま6月号の記載内容に誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、次の通り訂正いたします。

#### 【訂正箇所】

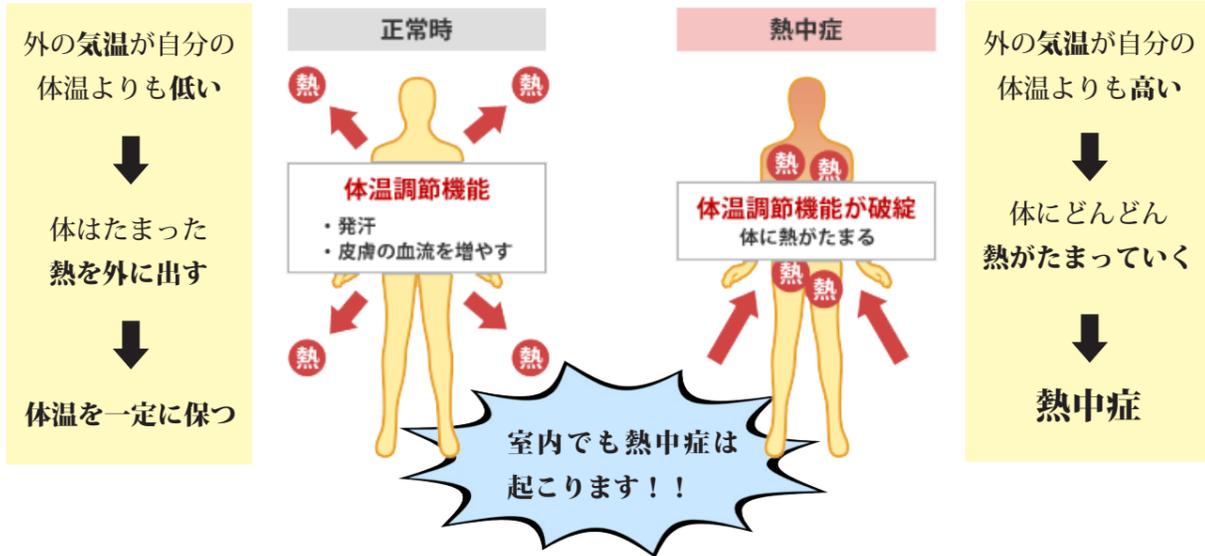
広報みしま6月号（8P） 町民記者通信

●春一番の人足作業（4月29日）

（誤）菅家 壽一さん（間方） → （正）佐々木 邦雄さん（松原）

知っておきたい！  
熱中症のメカニズム！！

vol.81  
健康で元気な毎日！  
町民課保健福祉係 ☎48-5565



こんな症状が出てきてしまったら…

- 足がつる
- 立ちくらみ
- 異常な量の汗
- めまい

応急処置のポイント



熱中症を予防するため、暑さ対策をしっかりと行い、こまめな水分補給を心がけましょう（^^）！

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

- 利用時間
  - 月～金 午前9時～午後9時
  - 土・日・祝 午前9時～午後5時
- お休み
  - 年末年始
- 公民館 ☎(48) 5599

●今月のおすすめ



みえるとかみえないとか

著：ヨシタケシンスケ  
視覚を失うことによって生み出される体の特徴や、見えてくる世界のあり方と、意味を実感したい一空間・感覚・運動・言葉・ユーモアという五つの視点から、目の見えない人の世界の「見え方」を読み解きます。

●図書の紹介



植物の一日一題

著：牧野富太郎



防災辞典

著：タイチャー



ワタナベマキの10の定番弁当

著：ワタナベマキ

地域おこし協力隊  
活動誌

2023年も折り返し

西田 星弥

7月にも入り本格的な夏が近づいてきました。今年の夏もかなりの酷暑が予想されるので、体調にはくれぐれもお気を付けてください。

さて本題に入りますが、私が協力隊として参画している1番の目的である、三島町産品の販路拡大に関して近況をお伝えできればと思います。

前回の活動誌のタイミング以降、また別の問題も浮上して上々とはいきません。しかしながら、最低限は関係者との統率が取れて動きやすくなったと思います。販売方面とは同時進行で名産品や新商品の開発も同時に進めていく必要がありそうですので、このあたりも視野を広げた上で積極的な攻勢を仕掛けていきたいと思います。

2023年も半分を経過して、また2024年も近づいていきます。残りの任期は2年間です。



少しでも町民の皆さんのお役に立つ日が来るよう頑張りたいと思います。

今回の写真は、先日、別の仕事で鹿児島県の種子島へ行ってきたものです。離島ですが人口は3万人弱で観光で訪れる人もかなり見受けられました。現地の事業者はなんとかしたいという意思がかなり強く積極性も感じられました。条件的な面で厳しい環境でも意思のある現地住民が多いことは素晴らしいことだと改めて実感しました。このような良い波が三島町にも起こることを期待したいと思います。

- アカソ採取 -



アカソ

6月中旬から7月初旬にかけては様々な編み組材料の採取時期が集中しています。この時期に採取できるのは山ブドウやヒロロ細工で使うモワダ、アカソなどがあります。今回はアカソ採取についてご紹介します。アカソはイラクサ科の植物で茎の外側の繊維がとても丈夫です。昭和村の特産品であるからむし（青苧）と仲間の植物でもあります。よく車道の脇にも生えているので採取がしやすい身近な材料だと感じています。

採取の方法は、根元から刈り取った後、①葉をすべて落とします。②茎を折りながら芯を取り出します。③残した表皮を小分けの束にして、竿などでつるして、日陰で乾燥させます。今回採取したのは、葉を落とした状態で約51kg。これが必要な部分だけを取り出して乾燥させていくとわずか1.2kg程度（約2.5%）になってしまいます。ほかの材料と比べても極端に残る量が少ないですが、すぐ近くに生えている身近な材料なので、ぜひ一度、「これがアカソか」とご覧いただけたら幸いです。



①葉を落とす



②茎を折り芯を取り出す



③干す

☎三島町生活工芸館 ☎(48) 5502

材料採取の季節

工芸館だより ②6 〓ものづくりの伝承〓

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。  
☎(52)2165

大正末から昭和の初め頃に書かれたと推察される宮下と西方小学校それぞれの『郷土誌』はひな形があったのか同じ目次立てで、様々なことが書かれています。そのなかには宮下村と西方村在住の人々(その想定は農を主の業とする者か)の休業日や労働時間についても言及されています。

両方にある大祭日、祝日というのは当時であれば、元始祭(一月三日)、新年宴会(一月五日)、紀元節(二月十一日)、春季皇霊祭(三月二十日)、神武天皇祭(四月三日)、秋季皇霊祭(九月二十三日)、神嘗祭(十月十七日)、天長節(明治節、十一月三日)、新嘗祭(十一月二十三日)、そして今でいう天皇誕生日あたりを指すと考えられます。『郷土誌』からはこういった祝祭日に休む者は少ないが、休むべきではないかと

する考えが広がりつつある時期であったことがうかがえます。そして、国の定めた祝祭日ではなく、実際に村々で執り行っていた年中行事に合わせた休業日を設けていたことが、また地区によっては独自の休業日を設定していたことがわかります。

労働時間は日出と日没が主な基準であること、四月中旬より八月中旬の間では昼寝の習慣があったこともうかがえます。また二十日頃〜翌春八十八夜頃または十月下旬から翌年二月下旬頃までは「夜業」と称し、夜の九時〜十時頃まで男は藁細工、女は縫針機の仕事をしていたことがわかります。

※引用文は旧字体を新字体にあらためたほか、句読点をつけ、また難読字にはルビを振っています。

西方小学校『郷土誌』より

古来、当地方ニ八休日ノ制度ナシ。唯、習慣ニテ陰曆正月一日ヨリ七日まで、同十五、十八日、二月初午、三月弥生、節句(三日)、四月八日(釈迦ノ誕生日)、五月端午節句(五日)、五月早苗振(田植後ノ休日八年々二定ム)、七月盂蘭盆(十四、十五、十六、十七日)、九月中ノ節句(十九日)、刈上ケ(廿九日)等ニ休業ス。近來大祭祝日ニ休業スルモノモ少々見受クルニ至リ。

宮下小学校『郷土誌』より

休業日ハ旧來ノ御盆節句等ノ休業日ノ外、部落ニヨリテ毎月陰曆ノ朔十五日ヲ以テ休業日ト定マレルモノモアレドモ、部落ニヨリテハ毎月ノ定日休業ナキモアリテ一定セザリシガ、今ハ国民トシテ大祭日祝日ヲ以テ休日ト定ムルノ可ナルヲ主張スルニ至リ、着々之ガ実行ヲ見ントシツツアリ労働時間ハ昼間夜間ノ長短ニヨリテ一定セス、普通ハ日出ニ出テ、日没(午後十時)頃マテ行フヲ普通トス。仕事ハ一定セザレトモ、主トシテ男子ハ藁細工、女子ハ縫針機仕事等ナリ。又休業日ト雖トモ朝仕事トテ日出ヨリ午前九時乃至十時頃迄行フヲ常トス。

地域循環コラム 第13回

～ ふくしまゼロカーボン宣言事業の募集開始について～

福島県では、2021年2月に「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言しており、翌年5月にはロードマップが決定、そして、先月の1日には「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」が設立されました。現在、カーボンニュートラル実現に向けて、県民、事業者、民間団体、学界、行政機関がパートナーシップを構築し、オール福島での取り組みを推し進めています。そこで、今回は、実現会議設立の同日に申込が開始された「ふくしまゼロカーボン事業(事業所版)」について紹介したいと思います。

出典：福島県地球温暖化対策ポータル

◆ ふくしまゼロカーボン宣言事業(事業所版)について

当事業は、県内すべての事業所で取り組んでいただきたい内容を電子申請により宣言(セルフチェック)していただくことで、取組の「見える化」を行い、県民総ぐるみの地球温暖化対策の推進と環境配慮意識の醸成を図る事業となります。対象事業所の業種・規模は不問ですので奮ってのご参加をお願いします！  
※ QRコードが読み込めない方は「ふくしま ゼロカーボンへの挑戦」で検索してください。



<申込期限> 令和5年6月1日～令和6年3月31日  
<申込方法> 電子申請(詳細はQRコードを参照。)

ちなみに、事業所版の他に各小中学校、高等学校等が参加できる「学校版」もあり、昨年度の当事業(学校版)では、「三島中学校」の取り組みが見事に入賞されています。皆さんも中学生に負けず積極的にチャレンジしていきましょう。

【地域おこし協力隊 やまもとたかはる 山本敬晴】

## 会津若松地方広域市町村圏整備組合よりお知らせ

令和6年4月採用予定の以下の職員を募集します。

### ●消防職員

#### 1 採用職種及び採用予定人員

試験職種	消防職員
採用予定人員	4名程度
職務内容	消防署等において、警防、予防、救急等の業務に従事します。男女とも原則として深夜業を含む交代制勤務です。(6ヶ月間の消防学校研修後、各所属に配属されます。)

#### 2 受験資格

高等学校卒業程度の学力を有する方で、平成8年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた方で、身体の基準は、身体強健な者とする。

#### 3 試験申込書の請求

消防本部、消防署、分署、出張所、市町村役場で交付します。なお、消防本部 (<http://www.119-aizu.jp>) のホームページから受験案内及び試験申込書をダウンロードすることができます。

#### 4 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒(A4判大)を必ず同封して、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部総務課(〒965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11)へ送付してください。

#### 5 受付期間

令和5年7月12日④から令和5年8月10日④まで(執務時間中に限ります。執務時間8時30分から17時15分まで)ただし、④⑤⑥は除きます。郵便による申込書提出の場合は、令和5年8月8日④の消印のあるものまで受け付けます。

#### 6 第1次試験

とき 令和5年9月17日④  
ところ 教養試験 会津大学  
体力試験 会津大学体育館



採用情報

#### 7 問い合わせ先

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部  
総務課総務グループ  
☎ 0242 (59) 1400 (総務課総務グループ直通)

### ●事務局職員 (行政職)

#### 1 採用職種及び採用予定人員

試験職種	行政職
採用予定人員	1名程度
職務内容	総務課・環境センター・用水供給課でそれぞれの業務に従事

#### 2 受験資格

高校卒業程度の学力を有する方で、平成8年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者

#### 3 試験申込書の請求

会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局・消防本部・消防署・分署・出張所・市町村役場で交付します。整備組合のホームページ (<http://www.aizu-kouiki.jp>) から受験案内・試験申込書をダウンロードすることができます。

#### 4 郵送を希望する場合

封筒の表に「採用試験用紙請求」と朱書きし、120円分の切手を貼った宛先明記の返信用封筒(A4判大)を同封し、会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局総務課総務係(〒965-0037 会津若松市中央三丁目10-12)へ郵送で請求してください。

#### 5 受付期間

令和5年7月12日④から令和5年8月10日④まで(執務時間中に限ります。執務時間8時30分から17時15分まで)ただし、④⑤⑥は除きます。郵便による申込書提出の場合は、令和5年8月8日④の消印のあるものまで受け付けます。

#### 6 第1次試験

とき 令和5年9月17日④  
ところ 会津大学  
内容 教養試験



採用情報

※新型コロナウイルス感染症の影響により採用試験の日程、会場等を変更する場合があります。その場合は、整備組合のホームページで周知するとともに、申込時の連絡先等に連絡いたします。

#### 7 問い合わせ先

会津若松地方広域市町村圏整備組合事務局  
総務課総務  
☎ 0242 (24) 6311

## 環境研だより 第60回



### 東北工業大学にインタビュー！ (前半)

三島町のみなさま、こんにちは。今回から二回に渡り、三島町にて国立環境研究所と共同研究を行っている、東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科の取組みについてご紹介いたします。前半となる今回は、仙台にある東北工業大学長町キャンパスにおじゃまして、大場教授と地域環境研究室で卒業研究に取り組んでいる山田さんに三島町との関わりや現地調査について伺ってきました。

#### ■東北工業大学 大場 真 教授



#### 東北工業大学はどんな学校でしょうか？また研究室ではどのような研究をされていますか？

東北工業大学は工学部を主にして、建築学部、ライフデザイン学部という3学部の体制となっています。ライフデザイン学部は生活やデザインに関する教育研究活動を行っておりまして、私の研究室では地域の環境を研究、デザインすることを目的としています。

#### 東北工業大学はどんな学校でしょうか？また研究室ではどのような研究をされていますか？

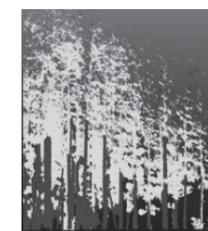
私たちの学部はモノづくり・デザインを主としており、編み組細工などの伝統工芸品に強い関心を持っています。私の研究室ではそれに加えて、工芸品の素材が採れる「森林」の活用に着目した研究活動を行っています。具体的には三島町での未間伐の森林をどのように管理していくか、あるいはなるべく労力をかけずに材積を測定する技術などを研究しています。

#### 三島町では実際にどういった調査をしているのでしょうか？

富岡町に本社がある株式会社ふたばさんとの共同研究で、浅岐地区や大石田地区で大型ドローンを使った

森林のレーザー計測を行っています。この計測からは森林について「点群」と呼ばれる森林の形を抽出するデータが得られますので、それらを定量的に分析することによって未間伐の森林の材積がどのくらいあるのか、というようなことを研究しています。

#### ■東北工業大学大場研究室 山田 修吾さん



▲機械学習により浅岐地区のスギ林の画像を幹(濃い部分)と枝葉(白色)に分離した例

#### 普段はどんな勉強・研究等の取組みをされていますか？

これまではプログラムを勉強してきたのですが、大場研究室に入ってから卒業研究として機械学習について勉強をはじめました。今は三島町で撮影した点群を機械学習にかけ、幹と枝葉が分離できるか日々試しています。

#### 山田さんの卒業研究や現地調査と町の取組はどのように関係してくるのでしょうか？

自分の研究はスマート林業の基礎と思っていますが、研究を進めるためには機械学習をパソコンの中で動かすだけではなく、現地調査で得られたデータと突き合わせ、精度を高める必要があります。三島町でスマート林業を今後進める際に使っていただけるような卒業研究にしたいですね。

#### 三島町に訪れた際の町の印象はありますか？

昨年末に浅岐地区の森林調査で伺ったのですが、一番はやはり自然の豊かさに感銘を受けました。昼食を雪国茶屋さんでいただいたのですが、お餅ラーメンがあることに衝撃を受け、さらにとてもおいしかったので強く印象に残っています。

前半では教授と学生さんのお二人にインタビューをして参りました。後半では東北工業大学のみなさんが、実際に三島町で調査をしている様子についてご紹介したいと思いますので後半もお楽しみに！

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました(5月分)

ふるさと納税

河野 廣 様(神奈川県)  
佐々木 あや子 様(会津美里町)  
鈴木 美幸 様(会津若松市)  
大塚 広子 様(埼玉県)  
他13件  
計289,000円

7月分納税のご案内

【納期限 7月31日(月)】

- ▼ 固定資産税(第2期)
- ▼ 国民健康保険税(第2期)
- ▼ 介護保険料(普通徴収)(第2期)

忘れずに納付してください。

町民課 町民係 ☎(48) 5555

お悔み申し上げます

長谷川 須美夫 様(64才・川井)

町の人口と世帯(6月1日現在)

人口	1,389	増減数	-6	出生	0
男	706		-2	死亡	4
女	683		-4	転入	1
世帯	688		-5	転出	3

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ 三島通信で健康教室を放送中です。

7月のテーマは「熱中症」です。ぜひご覧ください。



福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン 7月10日(月) 社会見学 大登サロン 7月10日(月) 午後1時30分から 大登生活改善センター ひまわりサロン 間方いきいきクラブ 7月14日(金) 社会見学 滝谷和楽塾 サロンないり 7月18日(火) 社会見学	高清水・小山いきいきサロン 7月19日(水) 午前10時から 高清水集会所 ほがらかサロン 7月25日(火) 午前10時から 森の校舎カタクリ 桧原はつらつクラブ 8月1日(火) 午前10時から 桧原集会所
---	--

◆健康マージャンサロン◆

7月13日(木) / 7月27日(木)  
福祉センター 午後1時30分から

◆健康マージャン教室◆

7月21日(金) / 7月28日(金) / 8月4日(金)  
町民センター 午後1時30分から

町社会福祉協議会へのご寄附  
(ご遺志によるもの)

長谷川 和男 様(川井)  
栗城 佐武郎 様(宮下)

社会福祉協議会 ☎(52) 3344

宮下病院からのお知らせ



令和5年度  
着任医師からの挨拶

外科 佐竹 賢仰

令和5年4月から着任しました佐竹賢仰と申します。宮下病院には三十数年前に外科医として2年間勤務いたしました。当時、新婚の新米医者を地域で温かく迎え入れていただき、楽しく充実した日々を過ごすことができました。改めて感謝申し上げます。

専門は外科ですが、診療科にはこだわらず、できることはなんでもやりたいと思っています。積み上げてきた経験を活かして少しでも地域のお役に立てればと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

福島県立宮下病院 ☎(52) 2321

消防署からのお知らせ

熱中症に注意！！

7月1日～7月31日は熱中症予防強化月間です。

- ・受け答えや会話がおかしい
- ・体が熱い、けいれんする
- ・普段通り歩けない

急いで救急車を要請してください。

熱中症は予防が大事！

会津坂下消防署 三島出張所  
☎(52) 3032 / FAX(52) 3033

会津坂下警察署からのお知らせ

クマ注意報発令！

会津坂下警察署管内でのクマの目撃が多発しています。クマが目撃された場所は、山間部やその付近だけではなく、会津坂下町の住宅街にも出没しています。

クマによる被害を防止するために、

- ・クマの足跡や糞を発見したらその付近から離れる
  - ・クマが活発に行動する朝夕の外出を控える
  - ・クマの通り道である河川敷や藪の草刈りを行う
  - ・敷地内への侵入を防ぐために車庫や倉庫の戸締りを行う
- 等の対策を推進しましょう。

「サポート詐欺」が増えています

○サポート詐欺とは

インターネットを閲覧中に、突然、偽のセキュリティ警告画面を表示させるなどして利用者の不安を煽り、画面に表示された電話番号に電話をかけさせ、パソコンを遠隔操作するソフトウェアをインストールさせたり、有償のサポート契約をさせる手口のことです。

○対処法

- ・警告画面の電話番号に電話をかけない
- ・ブラウザを閉じる
- ・案内されたソフトウェアをダウンロードしない
- ・購入も契約もしない

会津坂下警察署警務係 ☎0242(83)3451

個人事業税の納税をお忘れなく！

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設けて、物品販売業や不動産貸付業など、一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。

会津地方振興局県税部から送付される納税通知書により、8月31日まで(第1期分)と11月30日まで(第2期分)の2回に分けて納めていただくことになっています。ただし、年税額が1万円以下の場合には、8月分(第1期分)に一括して納めてください。

福島県会津地方振興局県税部  
課税第一課 事業税チーム ☎0242(29)5251

会場までの地図



- グルメだけじゃない!大自然の中で三大鶏を最大限に楽しもう!!
- ふくしま三大鶏の故郷を知る! (3市町の特産ブース)
  - ふくしま三大鶏を体験する! (ふくしまチキンレース)
  - 美坂高原を満喫する! (音楽LIVEステージ、特設キャンプサイト)
  - 三島町ゼロカーボンビジョン推進イベント! (リユースカップ)

主催 ふくしま三大鶏振興協議会 (三島町・川俣町・伊達市)

協力

ふくしま三大ブランド鶏推進協議会、(有) 会津地鶏みしまや、(株) 川俣町農業振興公社、伊達物産 (株)、(株) 第一印刷、美坂高原利活用イベント実行委員会

【お問合せ先】

ふくしま三大鶏振興協議会事務局  
三島町役場産業建設課産業建設係  
TEL 0241 (48) 5566

「会津地鶏」「川俣シャモ」「伊達鶏」  
ふくしま三大鶏を一度に味わえる!!



ふくしま  
三大鶏  
フェス

in 三島町「美坂高原」

先着  
1,000  
パック

来場者プレゼント!!  
当日会場にお越しください! 1個1パック、  
優待高層が早く玉子4個入りパックを  
プレゼントします!

ふくしま三大鶏グルメを楽しもう!

2023

7/29 (土)

鶏肉料理3つの定番グルメで味比べ!!

三大鶏を使用した、焼鳥、唐揚げ、カレーの3種を、3市町から出店します。



会場◎三島町「美坂高原」  
時間◎10:00~16:00

町長日記

第37回会津工人まつり開催の意義

No. 01

5月8日に新型コロナウイルス感染症が、感染症法の2類から季節性インフルエンザ等と同じ5類に移行されました。その様な中で、5月13日には、基本的な感染症対策を実施しながら桐の里ウォーキングを開催し、町内外から約400名の方にご参加いただきました。また、6月10日11日には、長野県の松本クラフトにも引けを取らず、全国的にも有名になった「ふるさと会津工人まつり」が開催され、「作り手から使う手へ」のコンセプトで「地域コミュニティ」の対話を重視したクラフト展として、全国から多くの工人とお客様が来訪されました。さらに、宮下地区で同時開催された「てわっさの里まつり」などもあり、約1万1千人の来場者で賑わいました。

新型コロナウイルス感染症  
やこれから起こるかもしれない

いと言われている、南海トラフ地震や気候変動による風水災害、そして原発の問題、世界で起こっている戦争と二極化問題などに多くの人間が怯えていると推察します。ぼんやりとした不安が世界を覆い尽くしています。

都市と農山村の共生の在り方を真剣に考える時が来ているように思います。自然や環境と成長や金融経済、人口という言葉の対立でなく、共生という全体を包括する時代の理念を考えることが、今生きている我々の次の時代に生きる若者に対する責任であります。その視点から三島町の町づくりの歴史を再考し、三島に生きるであろう未来の子ども達に夢と三島プライドを継承していきたいと考えています。

三島町長 矢澤 源成